

仙台高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	設備工学Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0048			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建築デザインコース			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	田中俊六他：建築設備工学，井上書院						
担当教員	小林 仁						
到達目標							
・ 建物の給排水衛生設備の重要性と関連事項を理解する。 ・ 2級建築士試験に出題される衛生設備関連の問題のうち60%は解くことができる。 将来実務を行う上で必要な職能意識を身につける。							
6-1-7-3 V-G建築系 給排水衛生設備 6-1-7-3-11 ①給水方式について説明できる。 6-1-7-3-11 ②使用水量について理解している。 6-1-7-3-11 ③揚水、管径について理解している。 6-1-7-3-11 ④給湯方式について説明できる。 6-1-7-3-11 ⑤給湯量について理解している。 6-1-7-3-11 ⑥排水方式について説明できる。 6-1-7-3-11 ⑦雨水排水設備について理解している。 6-1-7-3-11 ⑧浄化槽について説明できる。 6-1-7-3-11 ⑨衛生器具について説明できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
6-1-7-3-11 ①～⑨		各項目について実例に適用し評価できる		各項目について実例に適用できる		各項目について実例に適用出来ない	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	・ 建物の給排水衛生設備の概略と総合計画について理論と手法を理解する。						
授業の進め方・方法	・ 関連する理論と手法を講義・演習を通して修得する。 予習：毎回の授業前までに、授業で行う内容と意義を 考えて整理しておくこと。 復習：毎回の授業後に、授業で学んだことを振り返り、今後へ活かす方法を考えること。						
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	ガイダンス		設備工学の背景について説明できる		
		2週	給水設備		給水設備について説明できる		
		3週	給湯設備		給湯設備について説明できる		
		4週	排水設備		排水設備について説明できる		
		5週	衛生設備		衛生設備について説明できる		
		6週	浄化設備		浄化設備について説明できる		
		7週	電気設備		電気設備について説明できる		
	2ndQ	8週	消火設備		消火設備について説明できる		
		9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	90	0	0	0	0	10	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0